

# 報道資料

令和2年7月14日(火)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:戸毛・西川  
 報道専用電話:0742-27-8612(ダイヤルイン)内線:3130、3133  
 一般相談電話:0742-27-8561  
 総務部知事公室 防災統括室 担当:中西・小原  
 電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270, 2285

## 新型コロナウイルス感染者・患者の発生について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者(県内感染者124、125、126例目、患者104例目、無症状病原体保有者21、22例目)が発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実にしております。

感染者……PCR検査の結果が「陽性」の方

患者……PCR検査の結果が「陽性」で、かつ、症状のある方

### 1)感染者数の状況

※ 感染者 数累計	現在 感染者数	入院中(入院予定含む) [対応可能数]		重症	宿泊療養 [対応可能数]	自宅療養	死亡	退院等 累計
126	33	33	0	0	—	2	91	
		[434]			[108]			
前日比 +3	+3	+3	0	0	—	0	0	

※ 他府県発表との重複 5例

## 2) 感染者(患者)の概要

感染者124例目 (患者104例目)					
年代・性別	40代・男性	採取日 結果判明日	7月12日 7月13日	特記事項 (行動歴等)	下記以外外出せず 7月6、7、10日 大阪府 内出勤(車で通勤) 7月8日 近医受診 7月11日 知人の陽性判明 7月12日 帰国者・接触者外来を受 診。検体採取。
居住地	香芝市	入院日 (予定含む)	7月13日		
職業	会社員		軽症(軽快)		
発症日 症 状	7月8日 発熱	現在の状態	症状なし	濃厚接触者	家族3名他調査中
				推定感染経路	県内感染者の接触者 (大阪市内で会食)

感染者125例目 (無症状21例目)					
年代・性別	10代・女性	採取日 結果判明日	7月12日 7月13日	特記事項 (行動歴等)	下記以外外出せず 7月12日 保健所にて 検体採取
居住地	川西町	入院日 (予定含む)	7月14日		
職業	生徒		無症状		
発症日 症 状	—	現在の状態	—	濃厚接触者	家族3名他調査中
				推定感染経路	県内感染者の接触者

感染者126例目 (無症状22例目)					
年代・性別	10代・女性	採取日 結果判明日	7月12日 7月13日	特記事項 (行動歴等)	下記以外外出せず 7月12日 保健所にて 検体採取
居住地	川西町	入院日 (予定含む)	7月14日		
職業	児童		無症状		
発症日 症状	—	現在の状態	—	濃厚接触者	家族3名他調査中
				推定感染経路	県内感染者の接触者

今後とも、迅速で正確な情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。  
施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いいたします。

### 3) 県の対応

- 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。
- 新型コロナウイルス感染症を疑う方への相談窓口として、「帰国者・接触者相談センター」を設置しています。

新型コロナウイルスに感染した不安のある方は、こちらに電話相談してください。

少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐにご相談ください。(これらに該当しない場合の相談も可能です。)

- ★ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ★ 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合  
(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方及び妊婦の方
- ★ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合  
(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談ください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

## ■ 帰国者・接触者相談センター(新型コロナ受診相談窓口)

相談窓口	電話番号	FAX 番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

## 【県民のみなさまへ】

東京や大阪など、大都市での感染例が増えています。

感染予防のための「3つの徹底」にあわせて、特に大都市との往来について注意をお願いします。

なお、県では、今後も油断することなく、感染防止対策に取り組むとともに、感染症とも共存できる社会・経済活動体制を構築してまいります。

### 大都市との往来時の「うつらない・うつさない」ための7のポイント

#### ①基本の対策

- ・マスクの着用
- ・こまめに換気
- ・手洗いの徹底

#### ②出勤前

- ・毎朝の検温、健康チェック。
- ・症状がある場合は、自宅で療養。  
(症状がある時は個室で過ごし、極力部屋から出ない)

#### ③出勤

- ・できれば、混んでる時間帯は避けて出勤。  
(テレワークやローテーション勤務も有効)
- ・公共交通機関では、会話は控えめに。
- ・徒歩や自転車利用も併用する。

#### ④会社で

- ・密閉・密集・密接を避ける。(オンライン会議も有効)

#### ⑤食事

- ・お箸やお皿の共用、大皿での取り分けを避ける。
- ・対面ではなく、横並びで座ろう。
- ・おしゃべりは控えめに。
- ・お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて。

#### ⑥帰宅時

- ・家に帰ったらすぐに手や顔を洗う。
- ・できるだけすぐに着替え、シャワー。
- ・こまめに洗濯。

#### ⑦家の中

- ・家の中でも咳エチケット。
- ・手で触れる共有部分を定期的に消毒。
- ・タオルは、トイレ・洗面所・キッチンなどで共用しない。
- ・ゴミはすぐに密閉して捨てましょう。

### 感染予防のための「3つの徹底」

#### ①手洗い、手指消毒の徹底

#### ②接触しない、人との間隔は2m(最低1m)空ける

#### ③症状がある場合の外出自粛の徹底